

事業者等向け 放課後等デイサービス自己評価表(令和6年3月)

		チェック項目	はい	いいえ	その他	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10/10			必要に応じてパーティションで仕切ることが出来るので広いと思います。園庭もあるので、室内だけで過ごすことはありません。
	②	職員の配置数は適切であるか	10/10			10人定員に対して常に6~7人の職員で対応しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8/10		2/10	知的障害児が多いため、一般社会と同じ環境が必要なので、あえてバリアフリーにしなくてもいいのではないかと。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	10/10			毎日職員一同で時間を長く設けて行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10/10			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10/10			ホームページにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2/10	4/10	4/10	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10/10			外部研修は少ないが、独自の内部研修は行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10/10			児童の細かな状況・様子・課題なども把握して共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6/10	2/10	2/10	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9/10		1/10	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8/10	1/10	1/10	療育目的によっては出来るようになるまで繰り返し行うことや固定化も必要な時がある。そのため、日課は固定し、日課にそって動くことを療育目標とすることもある。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10/10			小学生のみの利用のため、休日も余暇活動より療育を主として行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	10/10			小グループ活動や、園庭での集団活動等常に行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10/10			時間設定・療育内容やグループ割りなどミーティングにて説明している。 勤務の都合上参加できなかった職員のために連絡ノートがある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8/10	1/10	1/10	翌日ミーティングにて、振り返りや改善点・当日予定等時間をかけて行っている。 当日は伝達事項をメモする程度。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10/10			記録は原則毎日つけ、翌日ミーティングにて報告している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10/10			常に話し合い、計画もその都度、変えることもある。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっているか	9/10		1/10	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10/10			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10/10			学校とは送迎時や電話等で連絡を取り合っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児は受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所の幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7/10		3/10	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8/10		2/10	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4/10	1/10	5/10	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもとの活動する機会があるか		6/10	4/10	現在はほとんどありません。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2/10	3/10	5/10	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10/10			連絡帳ではなく、当日の様子は電話・メール・送迎時口頭で必ず伝えている。 良かった点はもちろん伝え、よくなかった点は状況を見て伝えている。 保護者からの相談も常時受け、必要と判断した場合は面談を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	7/10	1/10	2/10	今は療育参観を呼びかけ、希望があれば一緒に療育をしてもらっています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか	10/10			契約時に時間をかけて説明している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	10/10			保護者からの相談は多く、その都度面談を行い、出来る限りの助言をさせていただいています。
	㉒	父母会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9/10		1/10	保護者会は毎年開催しているが、もう少し機会を増やし、懇談会等も設けていきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10/10			

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10/10			Instagramやブログ等はありませんが、定期的に療育の様子等をおたよりにて伝えています。
	③⑤	個人情報に十分に注意しているか	10/10			日常でも勤務中でも常に注意・意識を心掛けている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行っているか	8/10		2/10	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2/10	6/10	2/10	近所の子供たちと歩行時に会話する程度です。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7/10	1/10	3/10	マニュアルは紙媒体になっているか知らないが、口頭で情報を聞き、周知している。周知できていない。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10/10	1/10		火災や地震を想定し、年に2回は必ず行っているが、もう少し増やしてもいいかと思う。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10/10			虐待に対してはかなり厳しく、研修やミーティング等で常に話し合っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10/10			現在は身体拘束が必要な児童はいません。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対処がされているか	10/10			保護者より医師の指示を聞き、専用のおやつを持参していただき、盗食のある場合は保護者の了解を得て固定椅子を使用している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	10/10			ヒヤリハット記録は必ず書き、ミーティングにて報告しています。

*実施期間

令和6年2月20日から令和6年3月1日

*実施責任者

管理者・児童発達支援管理責任者